

## 第1回 六甲山系夙川地域学習ゾーン検討委員会

## 議 事 要 旨

1. 開催日時：平成21年11月26日(木) 14:30～16:30
2. 開催場所：西宮市教育委員会 3階大会議室
3. 出席者：

## 【委員】

宮田 隆夫	神戸大学理学部教授	構造地質学
香西 直樹	六甲山自然案内人の会 代表	自然
三宅 隆三	西宮自然保護協会	自然・郷土史
山本 實	浜脇・エココミュニティ会議	郷土史・地域代表
矢田 力	越木岩自治会 理事	地域代表
前田 俊樹	西宮市環境局 環境緑化部 環境学習推進グループ	
池内 一男	西宮市教育委員会 学校教育グループ 教育相談員	
砂原 庸孝	六甲砂防事務所 副所長	(事務所長の代理)

## 【事務局】

六甲砂防事務所	星野課長、西山技術員
株式会社エイト日本技術開発	田中、松島、長谷川

## 4. 配付資料

- 議事次第
- 第1回検討委員会資料（資料①～⑥）
- 参考資料 「みんなで語り、伝えよう！芦屋川物語」「主な学習要素（夙川流域）」

## 5. 議 事

1. 事務所長(代理の副所長)あいさつ	・六甲砂防事務所 砂原副所長あいさつ
2. 委員紹介	・各委員、事務局による自己紹介（資料①）
3. 委員会設立趣旨、規約（委員長の選任）	・事務局による説明（資料②）
4. 検討委員会での検討内容・スケジュール(案)	・事務局による説明（資料③）
5. 夙川流域の特性・主な学習要素について	・事務局による説明（資料④、参考資料）
6. 学習ストーリー骨子と散策ルートのポイントについて	・事務局による説明（資料⑤）
7. 意見交換	
8. 冊子における「わかりやすい表現」について	・事務局による説明（資料⑥）
9. 委員長を代行できる委員の選出	
10. 閉会	・六甲砂防事務所 砂原副所長あいさつ

<冊子の内容・情報に関する意見概要>

主 な 意 見 の 概 要	冊子P
<p>■甲山：サヌカイトの表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の説明文では、甲山の安山岩がサヌカイトだと読める。広くは安山岩にはいるが、瀬戸内に出てくる共通した岩石で、讃岐の名前を使ってサヌカイトと呼んでおり、表現の見直しが必要である。（香西委員、宮田委員長）</li> </ul>	20
<p>■甲山と六甲山の古い、新しい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山が古い新しいという誤解をまねくので、避けたほうがよい。（三宅委員、宮田委員長）</li> </ul>	—
<p>■「段丘や平坦な面」「花こう岩の風化」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夙川地域、西宮には、段丘や平坦な面が広く分布し、その状況を眺められるポイントがある。また、甲山森林公園の登山道で、花こう岩が風化してマサ土になっている箇所が見られ、これらを紹介しては。（三宅委員、宮田委員長）</li> </ul>	15 20
<p>■急流と魚道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>J R 付近の堰に魚道があるが、魚道を説明することで夙川の急流がよくわかるのではないか。（三宅委員）</li> </ul>	32
<p>■御前浜と香櫨園浜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人によって呼び方や使い分けが違うため、注意が必要である。明確に区分することは難しいと思うが、名前の由来などの説明は必要である。（三宅委員、山本委員）</li> </ul>	13
<p>■自然海岸が残っている理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>御前浜、香櫨園浜は、埋立てが多い阪神間の数少ない自然海岸である。これは住民の反対運動の結果であるが、そのことも紹介しては。（前田委員）</li> </ul>	13
<p>■古い夙川の跡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夙川上流に、昔の夙川の跡が残っていると聞いている。今のような広い夙川ではなく、もっと幅の狭い川の跡があるらしい。（矢田委員）</li> </ul>	—
<p>■満地谷累層</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>以前は「累層」という言葉を使っていたが、最近「累」をとって「層」と地質学の方では使うようになっている。（宮田委員長）</li> </ul>	18
<p>■越木岩鉱泉跡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夙川上流緑道と記載されている付近（松風公園の川向かい）に、越木岩鉱泉跡がある。これも付け加えてほしい。（三宅委員）</li> </ul>	12
<p>■徳川大阪城のふるさと・刻印石</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>芦屋では、「徳川大阪城のふるさと」として刻印石群などを紹介しているが、西宮でも甲山刻印石群、北山刻印石群、越木岩刻印石群などの他、刻印石が実際に見られる場所があり紹介してほしい。（山本委員）</li> </ul>	21 22
<p>■新田開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新田開発の説明では、中新田川や御手洗川についても触れてほしい。また、貯水池として北山貯水池に加え、満地谷貯水池の紹介も必要である。なお、御手洗川は下流で東川と名前を変えるため、この説明も必要である。（山本委員）</li> </ul>	43

主 な 意 見 の 概 要		冊子P
<b>■酒造の街</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夙川の伏流水の話とともに、宮水地帯で灘五郷の各酒屋は、それぞれ井戸を持っていることを紹介しては。また、白鹿記念酒造博物館に加え、白鷹緑水苑の紹介も必要である。(山本委員)</li> </ul>	50	
<b>■七つの顔をもつ西宮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「文教住宅都市宣言をした街」、「平和非核都市宣言」、「環境学習都市」の3つとした方が、西宮の特色を活かせるのでは。(前田委員)</li> </ul>	51	
<b>■芸術・文化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湯川秀樹、井上靖、火垂の墓に加え、谷崎潤一郎の紹介も必要である。また、コラムとして「まんぼう」を取り上げては。</li> <li>・洋画家の須田剋太(すだこくた)も入れては。また、司馬遼太郎の作品に西宮が出てくることも紹介しては。(山本委員、香西委員)</li> </ul>	53 54	
<b>■西宮のまつり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西宮神社の祭りでは、「十日まつり」と「ゆかた祭」が中心となるが、地元では「ゆかた祭」は、ひらがなで「おこしや祭」という。</li> <li>・西宮では「西宮まつり」が秋祭にあたり、その他、代表的な神事、イベントとして「船渡御」と「かざまつり」が挙げられる。(山本委員)</li> </ul>	64 65	

## <その他、意見概要>

主 な 意 見 の 概 要	
<b>■冊子の印刷時期</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子のとりまとめは2月中旬となっているが、印刷は4月頃を想定されているのか。(三宅委員)</li> <li>・年度内に印刷したいと考えているが、年度明けとなるのが実状である。(事務局)</li> </ul>	
<b>■散策ルートの対象範囲</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・散策ルートの範囲として、六甲山頂方面への散策は考えないのか。(宮田委員長)</li> <li>・各ルートとも半日程度で回れる範囲を想定し、山側のルートとしては甲山周辺を考えている。(事務局)</li> </ul>	
<b>■冊子などの活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが使うものは、事例の冊子よりも、刷り増して使えるサブノート程度のシンプルなものでもよいと思う。子ども全員に配るとなると3万部くらい必要になる。(前田委員)</li> <li>・「行動のためのキーワード」が、冊子などの活用において非常に重要で、夏休みの理科実験や自然観察に活かされるのでは。(池内委員)</li> </ul>	